

令和4年度 第2回 都留市総合教育会議 議事録（概要）

日時： 令和4年10月27日（木）午後1時30分～3時00分
場所： 都留市役所2階 市長公室
出席者： 小林教育長、三枝委員、小俣委員、遠山委員、村上委員、
小笠原委員、市長、総務部長、参与、企画課長、教育次長、
学校教育課長、学校教育課長補佐、生涯学習課長補佐、
企画課長補佐、ふるさと納税戦略室室長、企画担当リーダー、
企画担当

1 議題

議題(1) 令和5年度 教育関連予算について

▶資料(1)「令和5年度市政運営の基本的な考え方」について

▶資料(2)「令和5年度 教育予算方針」について

(教育長、企画課長)

▶【詳細は会議資料の通り】

【主な意見】

(小笠原委員)

限られた予算での設備整備について感謝申し上げます。また、音楽室などの特別教室へのエアコン設置においては引き続き検討をいただきたい。

(市長)

主に中学校整備と理解している。電気設備工事なども勘案しながら対応を図ってまいりたい。

(三枝委員)

きめ細やかな教育指導員等の支援に感謝している。今後の社会を担う人材への投資が一層必要であると感じているため、ぜひ注力いただきたい。

(教育長)

教育現場においては、子ども一人に数人体制で臨んでいるところもある。人員確保は難しいが、現場において人の配置は重要である。

(市長)

昨今においては、どの自治体も子育てへの施策充実に競争心を以って望んでいるところである。本市では企業誘致に向けた準備を進めているところである。誘致の成功にあたっては企業からの納税が期待でき、これを財源に人材育成へ投資することも可能となる。充実した支援が行えれば、若年層が地域の魅力を自覚し、地域から一時的に離れても再度リターンする、といった人材が地域において循環するとした効果も併せて期待できるのでは。

(総務部長)

物価高騰対策における臨時交付金を活用して、現在、給食費の無償化を10月から実施しているところ。将来的に自己資金で無償化を行うには財源の確保は重要であり、ふるさと納税を原資とした子ども基金の設置などを今後検討していく予定。

議題(2) その他

▶ 資料(2)「令和5年度 教育予算方針」における部活動の地域移行の取組について (教育次長)

部活動は学校教育の一環として学校指導要領に位置づけられた活動であり、活動を通じた人間形成の機会としても重要であるが、一方で部活動の設置運営は法令で定められたものではなく、また教師の長時間勤務の要因であり、多大な負担にもなっている。こうした背景を踏まえ、以下のような方策を講じていく。

1. 休日の部活動の段階的な地域移行（学校部活動から地域部活動への転換）
地域人材の活用など
2. 合理的で効率的な部活動の推進（合同部活動の推進）
ICTの活用、他行との合同部活動の推進

▶【詳細は会議資料の通り】

【主な意見】

(教育長)

地域人材の活用にあたってはスポーツ協会等に協力をを図っていく。また運動部だけでなく文化部も文化協会などへ協力をお願いしていくことを検討している。

2 報 告

▶資料(3) 学びのみらいづくり事業の進捗について

(参与)

令和3年度より外部人材との探究型学習塾創設に係る協議を図り、「学びのみらいづくり事業」として事業化を図った。また、一般社団法人つながる地域づくり研究所・株式会社ニコン日総プライム（NNP）との包括連携の上、NNPより企業版ふるさと納税を利用して参与が本市に着任し、令和4年度から本事業をの実装検討を図ってきた。こうした経緯を踏まえ、9月には一般社団法人「都留まなびの未来づくり推進機構」を設立し、将来的には市の補助に頼らない独自資金での「探究型学習塾」を本市にて運営していく。また、学習プログラムを展開するプレイヤーとしては地域おこし協力隊などを有効的に活用していく。

プログラムは「つるラボ」と称し、子どもだけでなく大人に向けた探究プログラムも実施していく予定。

▶【詳細は会議資料の通り】

【主な意見】

(小俣委員)

運営資金などはどのように確保していくのか

(企画課参与)

現在は国の交付金及び市からの補助金により資金確保をしている。将来的には市に頼らず、教職員や保護者を対象とした人材育成研修による受講費やスポンサーの確保、イベント等の実施により資金を確保をしていく予定。

3 そ の 他

保育所連合会の視聴訪問時の相談について

(市長)

本日、保育所連合会が要望に訪問したが、その際、保育園が土曜日運営しているが市内小学校の運動会が同日のため、学校に子どもが通っているスタッフが不在となり、運営に苦慮している現状があるとの話があった。

(学校教育課長)

小学校の行事はかなり密なスケジュールとなっており、要望に沿った調整は難しいところがある。

(遠山委員)

保育園スタッフの年齢層によってもだいぶ状況が異なるのでは。

4. 閉会